

## **第5回地区庶務担当理事連絡協議会**

と き 9月28日(水) 午後2時30分

ところ 京都府医師会館 2F 212・213 会議室

### **△北川副会長挨拶**

北川府医副会長は冒頭、全国的に台風等による災害が増えている中で、京都府では今のところ大きな被害は受けていないものの、いまだ不安定な気候が続いているため、各地区でも十分に注意していただきたいと呼びかけた。

また、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本勢の活躍に賞賛を送り、この国の未来に明るい兆しを感じさせる大会であった。1964年に開催された東京オリンピックでは素晴らしい日本の成長を世界に示したが、4年後の東京ではどのような姿を世界にアピールできるかが問われおり、豊洲・築地市場の移転騒動等の問題を早期解決して望んでもらいたいとの考えを示した。

次に、先般行われた京都医学会では「遺伝子診断」をテーマに開催されたことを報告し、健康寿命の延伸を目指して医療がますます高度化していくことは歓迎すべきとしながらも、医療費の財源確保や医療倫理等、山積する仮題に取り組む必要性を述べた。また、地域包括ケアについても活動を円滑に進めるべく、地区からの意見も取り入れて、行政に要望していくとの意向を示し挨拶を締めくくった。

### **△報告ならびに協議事項**

#### **1. 平成28年度 第2回医療安全講演会の開催について(大坪理事)**

10月15日(土)府医会館で行われる、平成28年度第2回医療安全講演会の内容を紹介。締切は10月11日(火)であるとして、医療関係者に広く参加を呼びかけた。

#### **2. 麻薬免許の一斉更新について(内田理事)**

麻薬免許の更新申請(平成27・28年有効の免許保持者)と受払数量届の提出が10月3日(月)から14日(金)まで府医事務局にて行われることを案内し、必ず期限までに提出していただくよう依頼した。特に、免許が失効した場合、麻薬の取扱いはもとより、在庫の所有についても麻薬及び向精神薬取締法違反として厳重に罰せられることを説明し、申請忘れには十分留意されるよう呼びかけた。また、更新手続や麻薬の在庫の有無にかかわらず、数量届の提出は必須であるため、会員への周知徹底を求めた。(京都医報平成28年9月15日号(No. 2085)付録参照)

### 3. 京都府医療推進協議会イベントについて（内田理事）

毎年開催している京都医療推進協議会のイベントを今年は10月2日（日）京都市勧業館「みやこめっせ」にて、『子育てファミリーが健康で働き続けられる社会をつくりましょう』をテーマに開催することを案内し、多数の参加を呼びかけた。

### 4. 医療政策懇談会について（内田理事）

と き 11月19日（土）講演会：午後5時～6時30分 懇親会：午後6時30分

ところ リーガロイヤルホテル京都 2階「朱雀の間」

講 演 「少子高齢化・人口減少時代における持続可能な社会保障制度について」

国立社会保障・人口問題研究所 所長

森田 朗 氏

少子高齢化対策や、社会保障政策などについて講演が行われることを紹介し、多数の参加を呼び掛けた。（京都医報 2016年10月1日号（No. 2086）付録参照）

### 5. 最近の中央情勢について（米林理事）

平成28年7月下旬から平成28年9月中旬にかけての社会・医療保険状況について、新専門医制度や社会保障費の話題を中心に説明した。

### 6. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

10月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し多数の参加を呼びかけた。

### 7. その他

#### ワクチンの流通について（禹理事）

9月15日（木）府医・京都府薬務課・卸売業者、ワクチンメーカーの四者でワクチンの確保等検討会が開かれ、MRワクチン・日本脳炎ワクチンの流通が滞っていることについて議論されたことを報告。MRワクチンの不足については、現在生産している業者が1社となっているため、製造が追いつかない状況であること、千葉・東京・大阪で麻しんが流行の兆しをみせていること、ワクチン接種を希望する患者が増えたことが要因であると説明した。

また、MRワクチンの接種対象者に優先順位が設けられ、第一位は定期接種者、第二位は麻しん発症者と接触した未接種者、第三位は中国・モンゴル・東南アジア等、麻しん流行国への渡航者でかつワクチン未接種者とされたことを説明し、各医療機関への協力と周知を依頼した。

次に、日本脳炎ワクチンについては、熊本地震や千葉県・静岡県で予防接種の時期を早められたこと、さらに以前まで定期接種が行われていなかった北海道でも定期接種が開始されたことも要因となり、品薄状態になっていることを説明。

最後に、10月から開始されるインフルエンザワクチンについて、今期は全国で275万本の出荷が予定されており、京都では51万8千本が供給される予定となっているものの、前年のワク

チン返品率が7%となっていることや、メーカーによる供給時期や供給量が異なるため、予定している数量のみを発注するよう、協力を求めた。

### **京都市における子ども若者はぐくみ局（仮称）の創設について（北川副会長）**

少子化対策を進めるため、平成29年度開始を目処に「子ども若者はぐくみ局」が創設される予定であることを報告した。分散していた子育て支援事業にかかる部署が集約されることとなり、それに伴い各区役所の窓口も再編され「子どもはぐくみ室」が設けられると説明。今後、府医と地区医で実施している事業に支障がないよう、京都市に要望を行っていくとの見通しを示した。

## **8. 地区からのご意見・ご要望**

秦庶務担当理事（下西）より、「医師の高齢化にともない追悼集を書ける医師も少なくなっており、結果としてご親族にお願いすることになっている。府医から直接ご親族に依頼してもらえないだろうか」との意見が挙がり、松井府医副会長は、追悼文は生前親交のあった医師に書いていただくことがふさわしいとの趣旨で行っており、府医では交友関係を把握できないため、これからも地区にお願いしたいとの考えを示した。

高橋庶務担当理事（綴喜）からは、大阪・京都・奈良の隣接する地区医師会でワクチンに関する情報交換会を行ったことが報告された。